

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-

日本円・コース (毎月分配型)
豪ドル・コース (毎月分配型)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)
米ドル・コース (毎月分配型)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型)	2011年9月22日～2026年9月7日
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	2013年5月31日～2026年9月7日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。通貨セレクト・コースは、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)	第156期 (決算日 2024年10月7日)
豪ドル・コース (毎月分配型)	第157期 (決算日 2024年11月7日)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	第158期 (決算日 2024年12月9日)
米ドル・コース (毎月分配型)	第159期 (決算日 2025年1月7日)
	第160期 (決算日 2025年2月7日)
	第161期 (決算日 2025年3月7日)
	第136期 (決算日 2024年10月7日)
	第137期 (決算日 2024年11月7日)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)	第138期 (決算日 2024年12月9日)
	第139期 (決算日 2025年1月7日)
	第140期 (決算日 2025年2月7日)
	第141期 (決算日 2025年3月7日)

(作成対象期間 2024年9月10日～2025年3月7日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3834>
<3835>
<3836>
<3837>
<5763>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
132期末 (2022年10月7日)	5,923	35	0.8	37,386	△ 4.1	—	97.6	286
133期末 (2022年11月7日)	6,078	35	3.2	37,671	0.8	—	99.3	294
134期末 (2022年12月7日)	6,293	35	4.1	39,430	4.7	—	97.4	303
135期末 (2023年1月10日)	6,386	35	2.0	38,982	△ 1.1	—	99.0	308
136期末 (2023年2月7日)	6,539	35	2.9	41,196	5.7	—	99.5	316
137期末 (2023年3月7日)	6,462	35	△ 0.6	40,623	△ 1.4	—	99.2	311
138期末 (2023年4月7日)	6,178	35	△ 3.9	41,240	1.5	—	99.8	297
139期末 (2023年5月8日)	6,067	35	△ 1.2	41,574	0.8	—	97.9	291
140期末 (2023年6月7日)	6,050	35	0.3	43,117	3.7	—	99.1	292
141期末 (2023年7月7日)	6,110	35	1.6	44,441	3.1	—	99.2	297
142期末 (2023年8月7日)	6,395	35	5.2	45,137	1.6	—	99.1	306
143期末 (2023年9月7日)	6,295	35	△ 1.0	45,067	△ 0.2	—	99.7	301
144期末 (2023年10月10日)	5,987	35	△ 4.3	43,800	△ 2.8	—	97.5	287
145期末 (2023年11月7日)	5,986	35	0.6	44,128	0.7	—	97.6	283
146期末 (2023年12月7日)	5,914	35	△ 0.6	46,045	4.3	—	98.9	261
147期末 (2024年1月9日)	6,150	35	4.6	48,254	4.8	—	97.5	270
148期末 (2024年2月7日)	6,168	35	0.9	50,214	4.1	—	98.2	263
149期末 (2024年3月7日)	6,263	35	2.1	51,799	3.2	—	97.5	264
150期末 (2024年4月8日)	6,342	35	1.8	52,852	2.0	0.0	98.2	268
151期末 (2024年5月7日)	6,071	35	△ 3.7	52,638	△ 0.4	0.0	99.0	255
152期末 (2024年6月7日)	6,002	35	△ 0.6	54,448	3.4	0.0	97.5	252
153期末 (2024年7月8日)	5,889	35	△ 1.3	56,674	4.1	0.0	97.9	248
154期末 (2024年8月7日)	5,956	35	1.7	53,371	△ 5.8	0.0	97.4	247
155期末 (2024年9月9日)	6,022	25	1.5	55,147	3.3	0.0	98.1	249
156期末 (2024年10月7日)	6,209	25	3.5	58,688	6.4	0.0	99.3	255
157期末 (2024年11月7日)	6,274	25	1.4	60,531	3.1	0.0	99.8	258
158期末 (2024年12月9日)	6,111	25	△ 2.2	62,245	2.8	0.0	98.0	233
159期末 (2025年1月7日)	5,839	25	△ 4.0	61,115	△ 1.8	0.0	98.4	222
160期末 (2025年2月7日)	5,813	25	△ 0.0	62,252	1.9	0.0	99.3	221
161期末 (2025年3月7日)	5,710	25	△ 1.3	58,775	△ 5.6	0.0	97.9	215

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

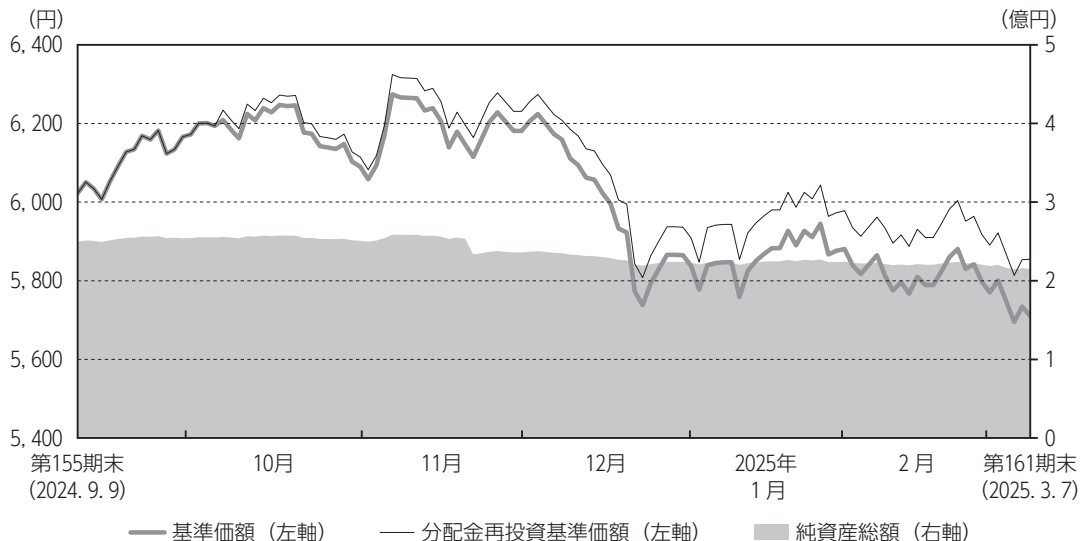
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第156期首：6,022円

第161期末：5,710円 (既払分配金150円)

騰落率：△2.8% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の主な変動要因

投資した「クローキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」が下落したため、基準価額は下落しました。「クローキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」については、米国株式市況が上昇したことはプラス要因となったものの、オプション取引戦略やヘッジコストがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クローキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)：オージェンタム・トラスト
クローキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース) (参考指数)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第156期	(期首) 2024年9月9日	円 6,022	% —	55,147	% —	% 0.0	% 98.1
	9月末	6,166	2.4	58,540	6.2	0.0	98.9
	(期末) 2024年10月7日	6,234	3.5	58,688	6.4	0.0	99.3
第157期	(期首) 2024年10月7日	6,209	—	58,688	—	0.0	99.3
	10月末	6,090	△ 1.9	59,346	1.1	0.0	99.3
	(期末) 2024年11月7日	6,299	1.4	60,531	3.1	0.0	99.8
第158期	(期首) 2024年11月7日	6,274	—	60,531	—	0.0	99.8
	11月末	6,181	△ 1.5	61,291	1.3	0.0	97.6
	(期末) 2024年12月9日	6,136	△ 2.2	62,245	2.8	0.0	98.0
第159期	(期首) 2024年12月9日	6,111	—	62,245	—	0.0	98.0
	12月末	5,837	△ 4.5	61,056	△ 1.9	0.0	97.9
	(期末) 2025年1月7日	5,864	△ 4.0	61,115	△ 1.8	0.0	98.4
第160期	(期首) 2025年1月7日	5,839	—	61,115	—	0.0	98.4
	1月末	5,881	0.7	62,119	1.6	0.0	98.6
	(期末) 2025年2月7日	5,838	△ 0.0	62,252	1.9	0.0	99.3
第161期	(期首) 2025年2月7日	5,813	—	62,252	—	0.0	99.3
	2月末	5,770	△ 0.7	60,022	△ 3.6	0.0	99.7
	(期末) 2025年3月7日	5,735	△ 1.3	58,775	△ 5.6	0.0	97.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 9. 10 ～ 2025. 3. 7）

米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言、また実際に0.50%ポイントの利下げを決定したことなどを背景に、上昇基調で推移しました。2024年11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬にF R Bが0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ米国政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、下落して当作成期末を迎えました。

短期金利市況

日銀は政策金利である「無担保コールレート（オーバーナイト物）」を、0.25%程度から0.50%程度に引き上げました。米国では、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を、5.25～5.50%から4.25～4.50%に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

引き続き、「クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 9. 10 ~ 2025. 3. 7)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

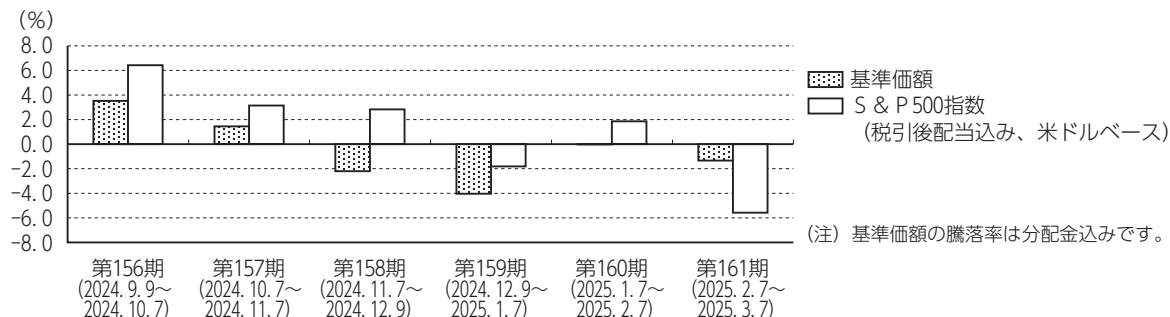
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	2024年9月10日 ～2024年10月7日	2024年10月8日 ～2024年11月7日	2024年11月8日 ～2024年12月9日	2024年12月10日 ～2025年1月7日	2025年1月8日 ～2025年2月7日	2025年2月8日 ～2025年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	25	25	25	25	25	25
対基準価額比率 (%)	0.40	0.40	0.41	0.43	0.43	0.44
当期の収益 (円)	21	25	24	23	25	22
当期の収益以外 (円)	3	—	0	1	—	2
翌期繰越分配対象額 (円)	365	368	367	366	367	364

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 21.98円	✓ 27.42円	✓ 24.40円	✓ 23.64円	✓ 25.88円	✓ 22.07円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	251.45	251.56	251.70	251.82	252.00	252.17
(d) 分配準備積立金	✓ 117.44	114.31	✓ 116.60	✓ 115.89	114.36	✓ 115.07
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	390.88	393.30	392.71	391.36	392.25	389.33
(f) 分配金	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	365.88	368.30	367.71	366.36	367.25	364.33

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とまらない場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第156期～第161期 (2024. 9. 10～2025. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0.660%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,009円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.431)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	40	0.663	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

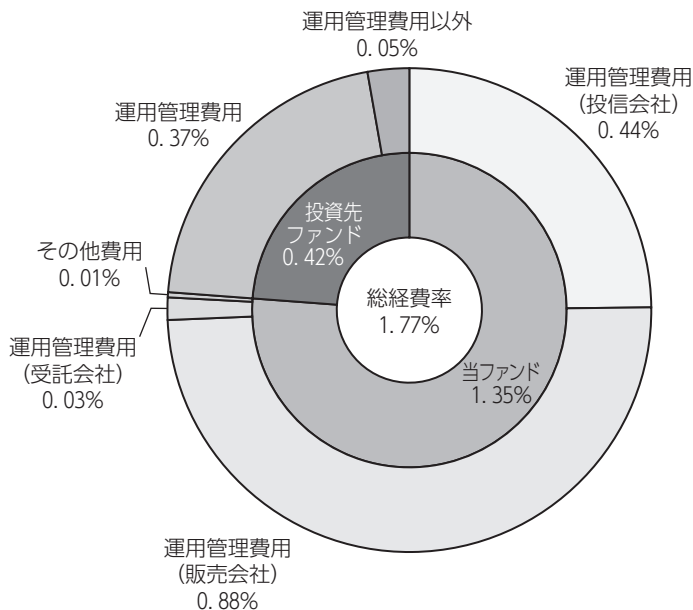
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.77%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.37%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年9月10日から2025年3月7日まで)

決 算 期		第 156 期 ～ 第 161 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	92.38751	6,927	399.37709	30,300

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 161 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	2,940.36257	210,541	97.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第155期末	第 161 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月7日現在

項 目	第 161 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	210,541	97.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	5,680	2.6
投資信託財産総額	216,223	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年10月7日)、(2024年11月7日)、(2024年12月9日)、(2025年1月7日)、(2025年2月7日)、(2025年3月7日)現在

項目	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末
(A) 資産	256,981,245円	259,882,161円	234,537,418円	224,164,342円	222,887,109円	216,223,658円
コール・ローン等	2,962,836	1,862,775	5,973,687	4,787,430	3,306,433	5,680,055
投資信託受益証券 (評価額)	254,016,528	258,017,505	228,561,850	219,375,031	219,578,794	210,541,721
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	1,881	1,881	1,881	1,881	1,882	1,882
(B) 負債	1,293,469	1,324,462	1,345,073	1,203,210	1,772,239	1,179,521
未払収益分配金	1,029,480	1,030,251	953,928	954,550	950,949	941,578
未払解約金	—	—	96,590	1,330	556,754	419
未払信託報酬	262,400	290,855	289,440	240,757	256,408	228,016
その他未払費用	1,589	3,356	5,115	6,573	8,128	9,508
(C) 純資産総額 (A - B)	255,687,776	258,557,699	233,192,345	222,961,132	221,114,870	215,044,137
元本	411,792,086	412,100,602	381,571,251	381,820,117	380,379,694	376,631,508
次期繰越損益金	△ 156,104,310	△ 153,542,903	△ 148,378,906	△ 158,858,985	△ 159,264,824	△ 161,587,371
(D) 受益権総口数	411,792,086口	412,100,602口	381,571,251口	381,820,117口	380,379,694口	376,631,508口
1万口当り基準価額 (C/D)	6,209円	6,274円	6,111円	5,839円	5,813円	5,710円

* 当作成期首における元本額は414,794,015円、当作成期間 (第156期~第161期) 中における追加設定元本額は2,895,455円、同解約元本額は41,057,962円です。

* 第161期末の計算口数当りの純資産額は5,710円です。

* 第161期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は161,587,371円です。

■損益の状況

第156期 自 2024年9月10日 至 2024年10月7日 第158期 自 2024年11月8日 至 2024年12月9日 第160期 自 2025年1月8日 至 2025年2月7日
 第157期 自 2024年10月8日 至 2024年11月7日 第159期 自 2024年12月10日 至 2025年1月7日 第161期 自 2025年2月8日 至 2025年3月7日

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(A) 配当等収益	932,922円	1,219,436円	1,222,455円	1,145,139円	1,242,453円	1,060,749円
受取配当金	932,075	1,219,066	1,221,251	1,144,248	1,241,447	1,059,890
受取利息	847	370	1,204	891	1,006	859
(B) 有価証券売買損益	8,056,395	2,781,841	△ 6,187,666	△ 10,330,409	△ 1,038,772	△ 3,781,218
売買益	8,078,313	2,781,907	435,174	286	3,859	13,042
売買損	△ 21,918	△ 66	△ 6,622,840	△ 10,330,695	△ 1,042,631	△ 3,794,260
(C) 信託報酬等	△ 263,989	△ 292,622	△ 291,199	△ 242,215	△ 257,963	△ 229,396
(D) 当期損益金 (A + B + C)	8,725,328	3,708,655	△ 5,256,410	△ 9,427,485	△ 54,282	△ 2,949,865
(E) 前期繰越損益金	△ 59,786,183	△ 52,075,722	△ 45,685,817	△ 51,878,933	△ 61,927,877	△ 62,221,381
(F) 追加信託差損益金	△ 104,013,975	△ 104,145,585	△ 96,482,751	△ 96,598,017	△ 96,331,716	△ 95,474,547
(配当等相当額)	(10,354,542)	(10,367,163)	(9,604,307)	(9,615,004)	(9,585,792)	(9,497,878)
(売買損益相当額)	(△ 114,368,517)	(△ 114,512,748)	(△ 106,087,058)	(△ 106,213,021)	(△ 105,917,508)	(△ 104,972,425)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 155,074,830	△ 152,512,652	△ 147,424,978	△ 157,904,435	△ 158,313,875	△ 160,645,793
(H) 収益分配金	△ 1,029,480	△ 1,030,251	△ 953,928	△ 954,550	△ 950,949	△ 941,578
次期繰越損益金 (G + H)	△ 156,104,310	△ 153,542,903	△ 148,378,906	△ 158,858,985	△ 159,264,824	△ 161,587,371
追加信託差損益金	△ 104,013,975	△ 104,145,585	△ 96,482,751	△ 96,598,017	△ 96,331,716	△ 95,474,547
(配当等相当額)	(10,354,542)	(10,367,163)	(9,604,307)	(9,615,004)	(9,585,792)	(9,497,878)
(売買損益相当額)	(△ 114,368,517)	(△ 114,512,748)	(△ 106,087,058)	(△ 106,213,021)	(△ 105,917,508)	(△ 104,972,425)
分配準備積立金	4,712,225	4,810,897	4,426,755	4,373,660	4,383,802	4,224,000
繰越損益金	△ 56,802,560	△ 54,208,215	△ 56,322,910	△ 66,634,628	△ 67,316,910	△ 70,336,824

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(a) 経費控除後の配当等収益	905,520円	1,130,245円	931,256円	902,924円	984,490円	831,353円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	10,354,542	10,367,163	9,604,307	9,615,004	9,585,792	9,497,878
(d) 分配準備積立金	4,836,185	4,710,903	4,449,427	4,425,286	4,350,261	4,334,225
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	16,096,247	16,208,311	14,984,990	14,943,214	14,920,543	14,663,456
(f) 分配金	1,029,480	1,030,251	953,928	954,550	950,949	941,578
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	15,066,767	15,178,060	14,031,062	13,988,664	13,969,594	13,721,878
(h) 受益権総口数	411,792,086口	412,100,602口	381,571,251口	381,820,117口	380,379,694口	376,631,508口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
		25円	25円	25円	25円	25円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
132期末 (2022年10月7日)	4,110	20	△ 2.3	37,386	△ 4.1	93.02	△ 3.2	—	97.8	850
133期末 (2022年11月7日)	4,298	20	5.1	37,671	0.8	94.61	1.7	—	97.5	874
134期末 (2022年12月7日)	4,321	20	1.0	39,430	4.7	91.93	△ 2.8	—	98.7	848
135期末 (2023年1月10日)	4,354	20	1.2	38,982	△ 1.1	91.10	△ 0.9	—	99.2	843
136期末 (2023年2月7日)	4,501	20	3.8	41,196	5.7	91.39	0.3	—	97.5	869
137期末 (2023年3月7日)	4,484	20	0.1	40,623	△ 1.4	91.64	0.3	—	98.3	863
138期末 (2023年4月7日)	4,144	20	△ 7.1	41,240	1.5	87.90	△ 4.1	—	99.0	774
139期末 (2023年5月8日)	4,228	20	2.5	41,574	0.8	91.14	3.7	—	99.6	790
140期末 (2023年6月7日)	4,335	20	3.0	43,117	3.7	93.21	2.3	—	99.0	785
141期末 (2023年7月7日)	4,504	20	4.4	44,441	3.1	95.43	2.4	—	97.9	792
142期末 (2023年8月7日)	4,636	20	3.4	45,137	1.6	93.21	△ 2.3	—	98.9	812
143期末 (2023年9月7日)	4,626	20	0.2	45,067	△ 0.2	94.31	1.2	—	95.8	787
144期末 (2023年10月10日)	4,459	20	△ 3.2	43,800	△ 2.8	95.42	1.2	—	98.0	751
145期末 (2023年11月7日)	4,599	20	3.6	44,128	0.7	97.28	1.9	—	99.6	767
146期末 (2023年12月7日)	4,540	20	△ 0.8	46,045	4.3	96.46	△ 0.8	—	98.9	753
147期末 (2024年1月9日)	4,762	20	5.3	48,254	4.8	96.81	0.4	—	98.0	761
148期末 (2024年2月7日)	4,770	20	0.6	50,214	4.1	96.54	△ 0.3	—	99.4	755
149期末 (2024年3月7日)	4,948	20	4.2	51,799	3.2	97.92	1.4	—	99.3	772
150期末 (2024年4月8日)	5,114	20	3.8	52,852	2.0	99.60	1.7	0.0	98.0	793
151期末 (2024年5月7日)	4,975	20	△ 2.3	52,638	△ 0.4	102.30	2.7	0.0	98.0	753
152期末 (2024年6月7日)	5,102	20	3.0	54,448	3.4	103.91	1.6	0.0	98.6	772
153期末 (2024年7月8日)	5,262	20	3.5	56,674	4.1	108.39	4.3	0.0	98.0	791
154期末 (2024年8月7日)	4,641	20	△ 11.4	53,371	△ 5.8	96.12	△ 11.3	0.0	99.8	688
155期末 (2024年9月9日)	4,796	20	3.8	55,147	3.3	95.28	△ 0.9	0.0	99.2	706
156期末 (2024年10月7日)	5,244	20	9.8	58,688	6.4	101.00	6.0	0.0	98.1	771
157期末 (2024年11月7日)	5,351	20	2.4	60,531	3.1	101.56	0.6	0.0	99.3	780
158期末 (2024年12月9日)	4,949	20	△ 7.1	62,245	2.8	95.81	△ 5.7	0.0	98.0	704
159期末 (2025年1月7日)	4,874	20	△ 1.1	61,115	△ 1.8	98.86	3.2	0.0	98.7	692
160期末 (2025年2月7日)	4,722	20	△ 2.7	62,252	1.9	95.06	△ 3.8	0.0	98.0	650
161期末 (2025年3月7日)	4,597	20	△ 2.2	58,775	△ 5.6	93.67	△ 1.5	0.0	99.6	626

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

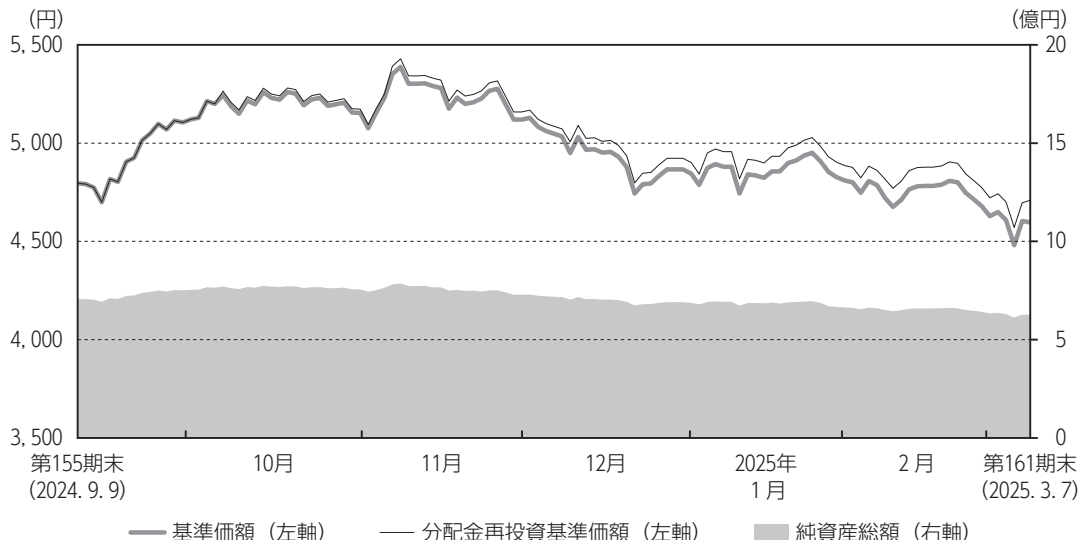
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第156期首：4,796円

第161期末：4,597円 (既払分配金120円)

騰落率：△1.8% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

投資した「クローキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」が下落したため、基準価額は下落しました。「クローキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」については、米国株式市況が上昇したことはプラス要因となったものの、豪ドルが対円で下落 (円高) したことやオプション取引戦略がマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クローキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)：オージェンタム・トラスト
クローキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第156期	(期首) 2024年 9月 9日	4,796	—	55,147	—	95.28	—	0.0	99.2
	9月末	5,105	6.4	58,540	6.2	98.73	3.6	0.0	99.5
	(期末) 2024年10月 7日	5,264	9.8	58,688	6.4	101.00	6.0	0.0	98.1
第157期	(期首) 2024年10月 7日	5,244	—	58,688	—	101.00	—	0.0	98.1
	10月末	5,153	△ 1.7	59,346	1.1	100.85	△ 0.1	0.0	98.4
	(期末) 2024年11月 7日	5,371	2.4	60,531	3.1	101.56	0.6	0.0	99.3
第158期	(期首) 2024年11月 7日	5,351	—	60,531	—	101.56	—	0.0	99.3
	11月末	5,120	△ 4.3	61,291	1.3	98.04	△ 3.5	0.0	99.8
	(期末) 2024年12月 9日	4,969	△ 7.1	62,245	2.8	95.81	△ 5.7	0.0	98.0
第159期	(期首) 2024年12月 9日	4,949	—	62,245	—	95.81	—	0.0	98.0
	12月末	4,845	△ 2.1	61,056	△ 1.9	98.50	2.8	0.0	98.2
	(期末) 2025年 1月 7日	4,894	△ 1.1	61,115	△ 1.8	98.86	3.2	0.0	98.7
第160期	(期首) 2025年 1月 7日	4,874	—	61,115	—	98.86	—	0.0	98.7
	1月末	4,810	△ 1.3	62,119	1.6	95.87	△ 3.0	0.0	99.4
	(期末) 2025年 2月 7日	4,742	△ 2.7	62,252	1.9	95.06	△ 3.8	0.0	98.0
第161期	(期首) 2025年 2月 7日	4,722	—	62,252	—	95.06	—	0.0	98.0
	2月末	4,629	△ 2.0	60,022	△ 3.6	93.23	△ 1.9	0.0	98.8
	(期末) 2025年 3月 7日	4,617	△ 2.2	58,775	△ 5.6	93.67	△ 1.5	0.0	99.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 9. 10 ～ 2025. 3. 7）

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言、また実際に0.50%ポイントの利下げを決定したことなどを背景に、上昇基調で推移しました。2024年11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬にF R Bが0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ米国政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、下落して当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

対円為替相場は、当作成期首より、オーストラリア経済の安定と資源価格のサポートなどを背景に円安豪ドル高が進みましたが、2024年11月後半からは、米国のトランプ次期大統領が中国やカナダ、メキシコに関税を課すと表明したことから、中国経済への減速懸念が豪ドルに対する売り圧力となり、円高豪ドル安が進みました。2025年1月以降は、日銀の追加利上げ観測が高まったことなどから、さらに円高豪ドル安が進みました。

■ 短期金利市況

オーストラリアでは、R B A（オーストラリア準備銀行）が政策金利を4.35%から4.10%に引き下げました。一方、米国では、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF Fレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を、5.25～5.50%から4.25～4.50%に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 9. 10 ~ 2025. 3. 7)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行いました。

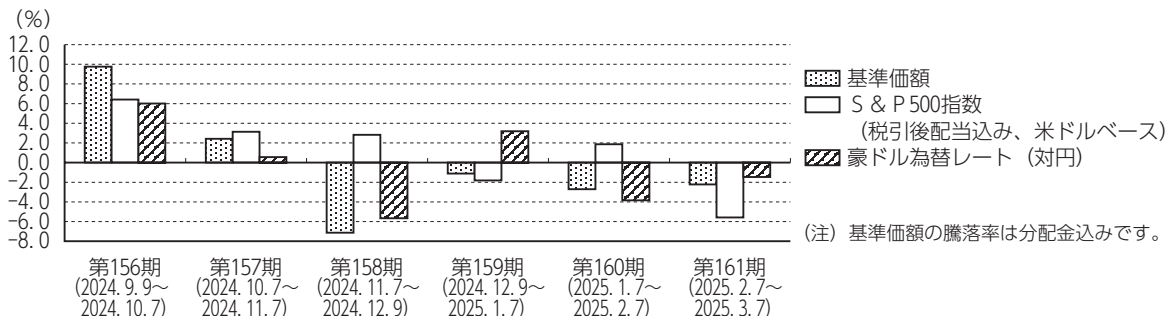
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	2024年9月10日 ～2024年10月7日	2024年10月8日 ～2024年11月7日	2024年11月8日 ～2024年12月9日	2024年12月10日 ～2025年1月7日	2025年1月8日 ～2025年2月7日	2025年2月8日 ～2025年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率 (%)	0.38	0.37	0.40	0.41	0.42	0.43
当期の収益 (円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	798	816	832	852	868	885

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率は異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.52円	✓ 37.71円	✓ 36.01円	✓ 39.79円	✓ 36.30円	✓ 36.59円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	208.38	208.67	208.96	209.27	209.62	210.00
(d) 分配準備積立金	572.90	590.15	607.58	623.27	642.72	658.65
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	818.82	836.53	852.55	872.35	888.65	905.25
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	798.82	816.53	832.55	852.35	868.65	885.25

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とまらない場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第156期～第161期 (2024. 9. 10～2025. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	33円	0.660%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,971円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.432)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	33	0.663	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

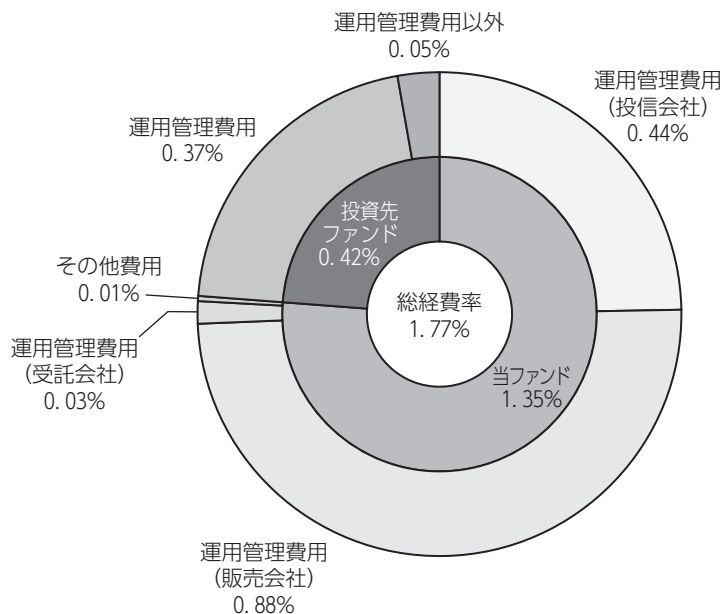
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.77%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.37%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年9月10日から2025年3月7日まで)

決 算 期		第 156 期 ～ 第 161 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	420.23937	35,521	849.34932	73,400

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投資信託財産の構成

2025年3月7日現在

項 目	第 161 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	624,161	98.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	8,245	1.3
投資信託財産総額	632,408	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 161 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	8,027.17811	624,161	99.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第155期末	第 161 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2024年10月7日）、（2024年11月7日）、（2024年12月9日）、（2025年1月7日）、（2025年2月7日）、（2025年3月7日）現在

項目	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末
(A) 資産	775,063,512円	788,474,298円	708,271,694円	695,956,227円	655,106,760円	632,408,374円
コール・ローン等	18,929,177	13,104,525	18,063,060	12,773,053	17,244,280	8,245,278
投資信託受益証券（評価額）	756,132,501	775,367,939	690,206,800	683,181,339	637,860,645	624,161,261
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,834	1,834	1,834	1,835	1,835	1,835
(B) 負債	4,038,761	7,480,735	3,747,073	3,603,249	4,130,748	5,480,262
未払収益分配金	2,940,446	2,918,964	2,847,185	2,840,843	2,757,385	2,727,544
未払解約金	334,295	3,679,486	—	1,102	568,303	2,053,755
未払信託報酬	759,386	872,325	884,533	741,423	780,416	670,224
その他未払費用	4,634	9,960	15,355	19,881	24,644	28,739
(C) 純資産総額（A－B）	771,024,751	780,993,563	704,524,621	692,352,978	650,976,012	626,928,112
元本	1,470,223,346	1,459,482,431	1,423,592,887	1,420,421,506	1,378,692,562	1,363,772,335
次期繰越増益金	△ 699,198,595	△ 678,488,868	△ 719,068,266	△ 728,068,528	△ 727,716,550	△ 736,844,223
(D) 受益権総口数	1,470,223,346口	1,459,482,431口	1,423,592,887口	1,420,421,506口	1,378,692,562口	1,363,772,335口
1万口当り基準価額（C/D）	5,244円	5,351円	4,949円	4,874円	4,722円	4,597円

* 当作成期首における元本額は1,472,991,605円、当作成期間（第156期～第161期）中における追加設定元本額は4,423,556円、同解約元本額は113,642,826円です。

* 第161期末の計算口数当りの純資産額は4,597円です。

* 第161期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は736,844,223円です。

■損益の状況

第156期 自 2024年9月10日 至 2024年10月7日 第158期 自 2024年11月8日 至 2024年12月9日 第160期 自 2025年1月8日 至 2025年2月7日
 第157期 自 2024年10月8日 至 2024年11月7日 第159期 自 2024年12月10日 至 2025年1月7日 第161期 自 2025年2月8日 至 2025年3月7日

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(A) 配当等収益	5,578,730円	5,765,343円	6,016,851円	6,398,921円	5,789,944円	5,665,099円
受取配当金	5,577,773	5,762,455	6,015,149	6,396,388	5,787,493	5,660,408
受取利息	957	2,888	1,702	2,533	2,451	4,691
(B) 有価証券売買損益	63,996,298	13,633,522	△ 59,542,769	△ 13,414,427	△ 23,284,356	△ 19,265,683
売買益	64,050,441	13,604,049	535,189	13,417	216,993	152,358
売買損	△ 54,143	29,473	△ 60,077,958	△ 13,427,844	△ 23,501,349	△ 19,418,041
(C) 信託報酬等	△ 764,020	△ 877,651	△ 889,928	△ 745,949	△ 785,179	△ 674,319
(D) 当期損益金（A+B+C）	68,811,008	18,521,214	△ 54,415,846	△ 7,761,455	△ 18,279,591	△ 14,274,903
(E) 前期繰越損益金	△ 338,378,583	△ 270,386,616	△ 248,402,253	△ 304,830,161	△ 305,998,058	△ 323,313,029
(F) 追加信託差損益金	△ 426,690,574	△ 423,704,502	△ 413,402,982	△ 412,636,069	△ 400,681,516	△ 396,528,747
（配当等相当額）	（ 30,637,589）	（ 30,455,496）	（ 29,747,420）	（ 29,726,020）	（ 28,901,456）	（ 28,639,604）
（売買損益相当額）	（△ 457,328,163）	（△ 454,159,998）	（△ 443,150,402）	（△ 442,362,089）	（△ 429,582,972）	（△ 425,168,351）
(G) 合計（D+E+F）	△ 696,258,149	△ 675,569,904	△ 716,221,081	△ 725,227,685	△ 724,959,165	△ 734,116,679
(H) 収益分配金	△ 2,940,446	△ 2,918,964	△ 2,847,185	△ 2,840,843	△ 2,757,385	△ 2,727,544
次期繰越増益金（G+H）	△ 699,198,595	△ 678,488,868	△ 719,068,266	△ 728,068,528	△ 727,716,550	△ 736,844,223
追加信託差損益金	△ 426,690,574	△ 423,704,502	△ 413,402,982	△ 412,636,069	△ 400,681,516	△ 396,528,747
（配当等相当額）	（ 30,637,589）	（ 30,455,496）	（ 29,747,420）	（ 29,726,020）	（ 28,901,456）	（ 28,639,604）
（売買損益相当額）	（△ 457,328,163）	（△ 454,159,998）	（△ 443,150,402）	（△ 442,362,089）	（△ 429,582,972）	（△ 425,168,351）
分配準備積立金	86,807,300	88,717,069	88,774,526	91,344,109	90,859,443	92,088,603
繰越増益金	△ 359,315,321	△ 343,501,435	△ 394,439,810	△ 406,776,568	△ 417,894,477	△ 432,404,079

（注1） 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3） 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,517,456円	5,504,505円	5,126,923円	5,652,972円	5,004,765円	4,990,780円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	30,637,589	30,455,496	29,747,420	29,726,020	28,901,456	28,639,604
(d) 分配準備積立金	84,230,290	86,131,528	86,494,788	88,531,980	88,612,063	89,825,367
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	120,385,335	122,091,529	121,369,131	123,910,972	122,518,284	123,455,751
(f) 分配金	2,940,446	2,918,964	2,847,185	2,840,843	2,757,385	2,727,544
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	117,444,889	119,172,565	118,521,946	121,070,129	119,760,899	120,728,207
(h) 受益権総口数	1,470,223,346口	1,459,482,431口	1,423,592,887口	1,420,421,506口	1,378,692,562口	1,363,772,335口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
		20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
132期末 (2022年10月7日)	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
133期末 (2022年11月7日)	2,025	20	4.3	37,386	△ 4.1	27.7334	1.8	—	99.1	14,845
133期末 (2022年11月7日)	2,180	20	8.6	37,671	0.8	29.0454	4.7	—	96.1	15,693
134期末 (2022年12月7日)	2,036	20	△ 5.7	39,430	4.7	26.2037	△ 9.8	—	97.6	14,176
135期末 (2023年1月10日)	2,010	20	△ 0.3	38,982	△ 1.1	25.0685	△ 4.3	—	99.2	13,914
136期末 (2023年2月7日)	2,097	20	5.3	41,196	5.7	25.7320	2.6	—	98.8	14,393
137期末 (2023年3月7日)	2,136	20	2.8	40,623	△ 1.4	26.3783	2.5	—	97.8	14,484
138期末 (2023年4月7日)	2,041	20	△ 3.5	41,240	1.5	26.0461	△ 1.3	—	97.3	13,636
139期末 (2023年5月8日)	2,088	20	3.3	41,574	0.8	27.2817	4.7	—	99.1	13,867
140期末 (2023年6月7日)	2,199	20	6.3	43,117	3.7	28.3804	4.0	—	98.6	14,118
141期末 (2023年7月7日)	2,307	20	5.8	44,441	3.1	29.2985	3.2	—	98.8	14,587
142期末 (2023年8月7日)	2,415	20	5.5	45,137	1.6	29.0567	△ 0.8	—	99.0	15,045
143期末 (2023年9月7日)	2,429	20	1.4	45,067	△ 0.2	29.6982	2.2	—	98.4	14,998
144期末 (2023年10月10日)	2,260	20	△ 6.1	43,800	△ 2.8	28.9156	△ 2.6	—	97.5	13,879
145期末 (2023年11月7日)	2,408	20	7.4	44,128	0.7	30.7014	6.2	—	97.7	14,654
146期末 (2023年12月7日)	2,348	20	△ 1.7	46,045	4.3	29.9971	△ 2.3	—	97.5	14,057
147期末 (2024年1月9日)	2,416	20	3.7	48,254	4.8	29.5245	△ 1.6	—	97.6	14,228
148期末 (2024年2月7日)	2,460	20	2.6	50,214	4.1	29.8101	1.0	—	97.6	14,253
149期末 (2024年3月7日)	2,539	20	4.0	51,799	3.2	30.1110	1.0	—	98.5	14,370
150期末 (2024年4月8日)	2,564	20	1.8	52,852	2.0	29.9516	△ 0.5	0.0	98.8	14,262
151期末 (2024年5月7日)	2,473	20	△ 2.8	52,638	△ 0.4	30.3437	1.3	0.0	97.6	13,647
152期末 (2024年6月7日)	2,420	20	△ 1.3	54,448	3.4	29.6287	△ 2.4	0.0	99.2	13,254
153期末 (2024年7月8日)	2,361	20	△ 1.6	56,674	4.1	29.4343	△ 0.7	0.0	98.9	12,793
154期末 (2024年8月7日)	2,089	20	△ 10.7	53,371	△ 5.8	25.9660	△ 11.8	0.0	99.5	11,054
155期末 (2024年9月9日)	2,116	20	2.2	55,147	3.3	25.4885	△ 1.8	0.0	98.8	11,119
156期末 (2024年10月7日)	2,327	20	10.9	58,688	6.4	27.2081	6.7	0.0	97.7	12,120
157期末 (2024年11月7日)	2,345	20	1.6	60,531	3.1	27.2201	0.0	0.0	99.2	12,134
158期末 (2024年12月9日)	2,104	20	△ 9.4	62,245	2.8	24.6131	△ 9.6	0.0	97.7	10,645
159期末 (2025年1月7日)	2,094	20	0.5	61,115	△ 1.8	25.8617	5.1	0.0	97.6	10,372
160期末 (2025年2月7日)	2,131	20	2.7	62,252	1.9	26.2223	1.4	0.0	97.5	10,420
161期末 (2025年3月7日)	2,053	20	△ 2.7	58,775	△ 5.6	25.6789	△ 2.1	0.0	99.7	9,927

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

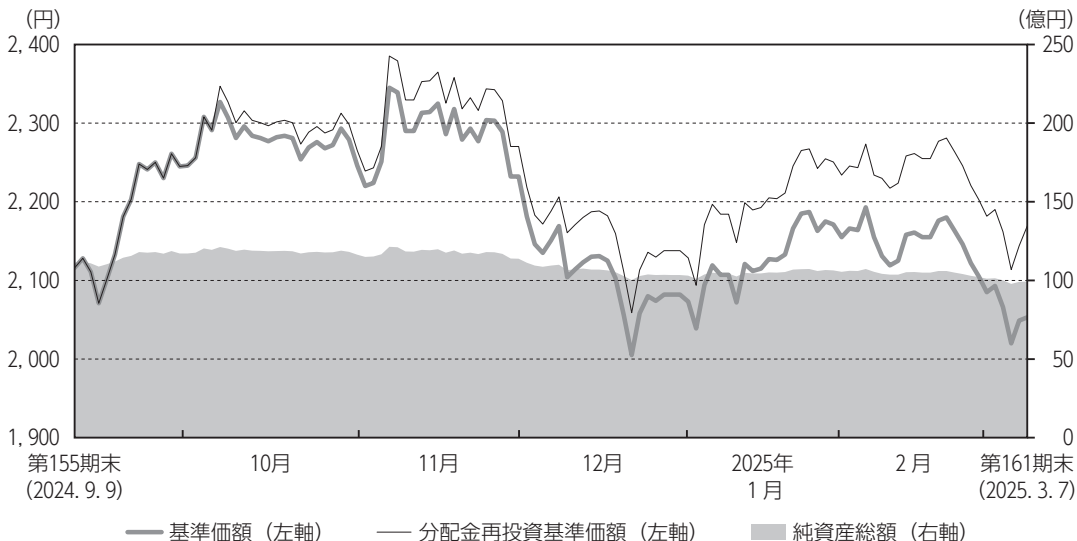
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第156期首：2,116円

第161期末：2,053円（既払分配金120円）

騰落率：2.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました（分配金再投資ベース）。「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」については、オプション取引戦略はマイナス要因となったものの、米国株式市況の上昇やブラジル・リアルが対円で上昇（円安）したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）：オージェンタム・トラストクロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第156期	(期首) 2024年 9月 9日	2,116	—	55,147	—	25.4885	—	0.0	98.8
	9月末	2,245	6.1	58,540	6.2	26.2459	3.0	0.0	99.7
	(期末) 2024年10月 7日	2,347	10.9	58,688	6.4	27.2081	6.7	0.0	97.7
第157期	(期首) 2024年10月 7日	2,327	—	58,688	—	27.2081	—	0.0	97.7
	10月末	2,246	△ 3.5	59,346	1.1	26.6275	△ 2.1	0.0	98.2
	(期末) 2024年11月 7日	2,365	1.6	60,531	3.1	27.2201	0.0	0.0	99.2
第158期	(期首) 2024年11月 7日	2,345	—	60,531	—	27.2201	—	0.0	99.2
	11月末	2,232	△ 4.8	61,291	1.3	25.0657	△ 7.9	0.0	98.4
	(期末) 2024年12月 9日	2,124	△ 9.4	62,245	2.8	24.6131	△ 9.6	0.0	97.7
第159期	(期首) 2024年12月 9日	2,104	—	62,245	—	24.6131	—	0.0	97.7
	12月末	2,073	△ 1.5	61,056	△ 1.9	25.4718	3.5	0.0	96.3
	(期末) 2025年 1月 7日	2,114	0.5	61,115	△ 1.8	25.8617	5.1	0.0	97.6
第160期	(期首) 2025年 1月 7日	2,094	—	61,115	—	25.8617	—	0.0	97.6
	1月末	2,155	2.9	62,119	1.6	26.2663	1.6	0.0	98.9
	(期末) 2025年 2月 7日	2,151	2.7	62,252	1.9	26.2223	1.4	0.0	97.5
第161期	(期首) 2025年 2月 7日	2,131	—	62,252	—	26.2223	—	0.0	97.5
	2月末	2,085	△ 2.2	60,022	△ 3.6	25.6424	△ 2.2	0.0	98.5
	(期末) 2025年 3月 7日	2,073	△ 2.7	58,775	△ 5.6	25.6789	△ 2.1	0.0	99.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 9. 10 ～ 2025. 3. 7）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言、また実際に0.50%ポイントの利下げを決定したことなどを背景に、上昇基調で推移しました。2024年11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬にF R Bが0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ米国政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、下落して当作成期末を迎えました。

■為替相場

ブラジル・リアルは対円で上昇しました。

ブラジル・リアル対円為替相場は、当作成期首から、米国など多くの国で利下げが実施される中でブラジル中央銀行が利上げに転じたことが好感され、上昇しました。しかし2024年11月には、日銀の追加利上げ観測の高まりや、米国トランプ政権の関税方針を受けたリスク回避姿勢の強まりなどを背景に、リアルは対円で下落（円高）しました。12月に入ると、日銀の早期利上げ観測の後退などから円安が進行したことや、2025年1月にはルラ大統領とハダジ財務相が財政健全化に向けた取り組み姿勢を示したことなどから、リアルは対円で上昇しました。しかし2月以降は、米国トランプ政権の関税方針を受けたリスク回避姿勢の強まりなどを背景に、リアルは対円で下落し、当作成期末を迎えました。

■短期金利市況

ブラジルでは、ブラジル中央銀行が政策金利を10.50%から13.25%に引き上げました。一方、米国では、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンズ・レート）の誘導目標を、5.25～5.50%から4.25～4.50%に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 9. 10 ~ 2025. 3. 7)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行いました。

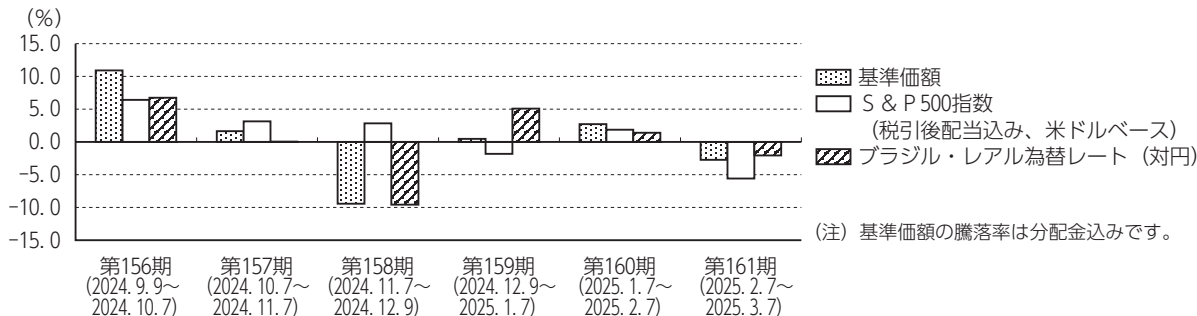
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	2024年9月10日 ～2024年10月7日	2024年10月8日 ～2024年11月7日	2024年11月8日 ～2024年12月9日	2024年12月10日 ～2025年1月7日	2025年1月8日 ～2025年2月7日	2025年2月8日 ～2025年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率 (%)	0.85	0.85	0.94	0.95	0.93	0.96
当期の収益 (円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,372	1,376	1,380	1,390	1,395	1,405

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率は異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 27.99円	✓ 24.00円	✓ 24.13円	✓ 29.26円	✓ 25.08円	✓ 30.01円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,035.19	1,035.68	1,036.20	1,036.79	1,037.37	1,037.95
(d) 分配準備積立金	329.53	337.03	340.52	344.07	352.76	357.26
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,392.72	1,396.73	1,400.86	1,410.13	1,415.22	1,425.24
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,372.72	1,376.73	1,380.86	1,390.13	1,395.22	1,405.24

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄と異なる場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第156期～第161期 (2024. 9. 10～2025. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	14円	0.658%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,181円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0.431)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	14	0.661	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

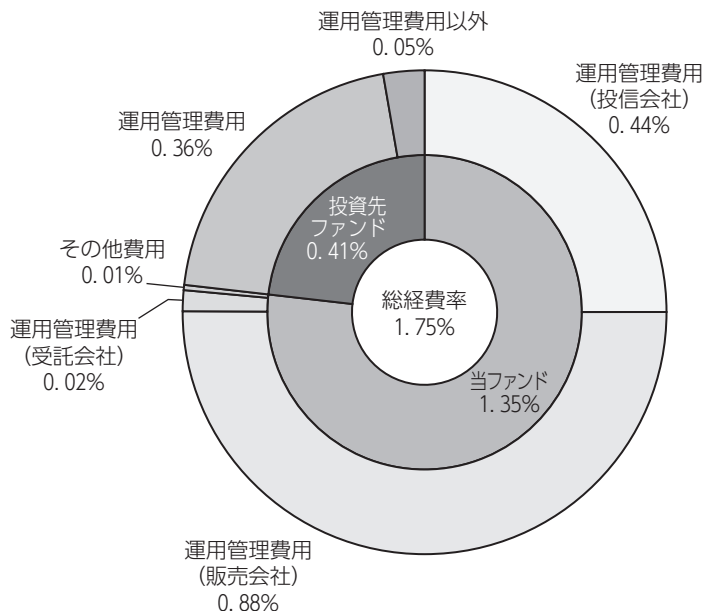
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.75%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.36%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年9月10日から2025年3月7日まで)

決 算 期		第 156 期 ~ 第 161 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	27,073.99253	862,578	46,155.01812	1,489,800

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 161 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	330,635.58754	9,894,269	99.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第155期末	第 161 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月7日現在

項 目	第 161 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	9,894,269	98.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	159,749	1.6
投資信託財産総額	10,054,020	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年10月7日)、(2024年11月7日)、(2024年12月9日)、(2025年1月7日)、(2025年2月7日)、(2025年3月7日)現在

項目	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末
(A) 資産	12,248,161,156円	12,260,196,868円	10,829,177,039円	10,516,083,651円	10,548,153,723円	10,054,020,779円
コール・ローン等	408,699,550	217,613,214	427,212,561	390,375,704	383,188,235	159,749,029
投資信託受益証券 (評価額)	11,839,459,815	12,042,581,862	10,401,962,686	10,125,706,155	10,164,963,696	9,894,269,957
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	1,791	1,792	1,792	1,792	1,792	1,793
(B) 負債	127,842,243	125,544,790	183,213,694	143,320,879	127,620,176	126,817,571
未払収益分配金	104,150,285	103,513,144	101,184,578	99,064,084	97,778,938	96,690,891
未払解約金	11,670,820	8,381,995	68,065,777	32,807,363	17,402,221	18,986,672
未払信託報酬	11,947,999	13,493,912	13,723,595	11,141,483	12,057,268	10,692,805
その他未払費用	73,139	155,739	239,744	307,949	381,749	447,203
(C) 純資産総額 (A - B)	12,120,318,913	12,134,652,078	10,645,963,345	10,372,762,772	10,420,533,547	9,927,203,208
元本	52,075,142,957	51,756,572,110	50,592,289,378	49,532,042,092	48,889,469,338	48,345,445,968
次期繰越損益金	△ 39,954,824,044	△ 39,621,920,032	△ 39,946,326,033	△ 39,159,279,320	△ 38,468,935,791	△ 38,418,242,760
(D) 受益権総口数	52,075,142,957口	51,756,572,110口	50,592,289,378口	49,532,042,092口	48,889,469,338口	48,345,445,968口
1万口当り基準価額 (C/D)	2,327円	2,345円	2,104円	2,094円	2,131円	2,053円

* 当作成期首における元本額は52,554,735,437円、当作成期間 (第156期～第161期) 中における追加設定元本額は487,718,242円、同解約元本額は4,697,007,711円です。
 * 第161期末の計算口数当りの純資産額は2,053円です。
 * 第161期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は38,418,242,760円です。

■損益の状況

第156期 自 2024年9月10日 至 2024年10月7日 第158期 自 2024年11月8日 至 2024年12月9日 第160期 自 2025年1月8日 至 2025年2月7日
 第157期 自 2024年10月8日 至 2024年11月7日 第159期 自 2024年12月10日 至 2025年1月7日 第161期 自 2025年2月8日 至 2025年3月7日

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(A) 配当等収益	147,240,964円	133,043,197円	135,914,778円	156,142,862円	127,972,078円	155,891,068円
受取配当金	147,220,032	132,989,586	135,876,293	156,114,941	127,919,102	155,804,032
受取利息	20,932	53,611	38,485	27,921	52,976	87,036
(B) 有価証券売買損益	1,071,599,381	72,539,364	△ 1,236,617,188	△ 95,952,544	164,266,071	△ 425,805,289
売買益	1,076,007,054	72,097,440	1,103,070,898	2,912,141	165,776,394	1,560,217
売買損	△ 4,407,673	441,924	△ 1,249,688,086	△ 98,864,685	△ 1,510,323	△ 427,365,506
(C) 信託報酬等	△ 12,021,138	△ 13,576,512	△ 13,807,600	△ 11,209,688	△ 12,131,068	△ 10,758,259
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1,206,819,207	192,006,049	△ 1,114,510,010	48,980,630	280,107,081	△ 280,672,480
(E) 前期繰越損益金	△ 19,969,166,442	△ 18,723,551,467	△ 18,188,244,876	△ 18,964,983,909	△ 18,737,783,780	△ 18,319,072,655
(F) 追加信託差損益金	△ 21,088,326,524	△ 20,986,861,470	△ 20,542,386,569	△ 20,144,211,957	△ 19,913,480,154	△ 19,721,806,734
(配当等相当額)	(5,390,772,830)	(5,360,362,281)	(5,242,404,967)	(5,135,453,130)	(5,071,651,011)	(5,018,042,171)
(売買損益相当額)	(△ 26,479,099,354)	(△ 26,347,223,751)	(△ 25,784,791,536)	(△ 25,279,665,087)	(△ 24,985,131,165)	(△ 24,739,848,905)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 39,850,673,759	△ 39,518,406,888	△ 39,845,141,455	△ 39,060,215,236	△ 38,371,156,853	△ 38,321,551,869
(H) 収益分配金	△ 104,150,285	△ 103,513,144	△ 101,184,578	△ 99,064,084	△ 97,778,938	△ 96,690,891
次期繰越損益金 (G + H)	△ 39,954,824,044	△ 39,621,920,032	△ 39,946,326,033	△ 39,159,279,320	△ 38,468,935,791	△ 38,418,242,760
追加信託差損益金	△ 21,088,326,524	△ 20,986,861,470	△ 20,542,386,569	△ 20,144,211,957	△ 19,913,480,154	△ 19,721,806,734
(配当等相当額)	(5,390,772,830)	(5,360,362,281)	(5,242,404,967)	(5,135,453,130)	(5,071,651,011)	(5,018,042,171)
(売買損益相当額)	(△ 26,479,099,354)	(△ 26,347,223,751)	(△ 25,784,791,536)	(△ 25,279,665,087)	(△ 24,985,131,165)	(△ 24,739,848,905)
分配準備積立金	1,757,705,928	1,765,131,629	1,743,731,584	1,750,154,011	1,749,513,672	1,775,668,060
繰越損益金	△ 20,624,203,448	△ 20,400,190,191	△ 21,147,671,048	△ 20,765,221,374	△ 20,304,969,309	△ 20,472,104,086

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
 (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(a) 経費控除後の配当等収益	145,788,811円	124,256,478円	122,107,178円	144,933,174円	122,659,883円	145,132,809円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	5,390,772,830	5,360,362,281	5,242,404,967	5,135,453,130	5,071,651,011	5,018,042,171
(d) 分配準備積立金	1,716,067,402	1,744,388,295	1,722,808,984	1,704,284,921	1,724,632,727	1,727,226,142
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	7,252,629,043	7,229,007,054	7,087,321,129	6,984,671,225	6,918,943,621	6,890,401,122
(f) 分配金	104,150,285	103,513,144	101,184,578	99,064,084	97,778,938	96,690,891
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	7,148,478,758	7,125,493,910	6,986,136,551	6,885,607,141	6,821,164,683	6,793,710,231
(h) 受益権総口数	52,075,142,957口	51,756,572,110口	50,592,289,378口	49,532,042,092口	48,889,469,338口	48,345,445,968口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
		20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500 指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
132期末 (2022年10月7日)	6,375	40	2.3	70,593	△ 2.9	—	97.8	2,612
133期末 (2022年11月7日)	6,661	40	5.1	72,170	2.2	—	99.5	2,704
134期末 (2022年12月7日)	6,441	40	△ 2.7	70,543	△ 2.3	—	98.8	2,587
135期末 (2023年1月10日)	6,367	40	△ 0.5	66,968	△ 5.1	—	99.6	2,541
136期末 (2023年2月7日)	6,571	40	3.8	71,164	6.3	—	98.2	2,617
137期末 (2023年3月7日)	6,670	40	2.1	72,052	1.2	—	99.1	2,651
138期末 (2023年4月7日)	6,214	40	△ 6.2	70,809	△ 1.7	—	97.4	2,466
139期末 (2023年5月8日)	6,344	40	2.7	73,204	3.4	—	99.4	2,519
140期末 (2023年6月7日)	6,504	40	3.2	78,374	7.1	—	99.2	2,503
141期末 (2023年7月7日)	6,806	40	5.3	83,468	6.5	—	99.6	2,594
142期末 (2023年8月7日)	7,041	40	4.0	83,335	△ 0.2	—	98.3	2,675
143期末 (2023年9月7日)	7,255	40	3.6	86,870	4.2	—	95.1	2,730
144期末 (2023年10月10日)	7,033	40	△ 2.5	84,804	△ 2.4	—	99.5	2,639
145期末 (2023年11月7日)	7,083	40	1.3	86,301	1.8	—	98.2	2,646
146期末 (2023年12月7日)	6,915	40	△ 1.8	88,292	2.3	—	99.2	2,574
147期末 (2024年1月9日)	7,096	40	3.2	90,522	2.5	—	98.9	2,598
148期末 (2024年2月7日)	7,340	40	4.0	96,751	6.9	—	97.2	2,627
149期末 (2024年3月7日)	7,547	40	3.4	100,575	4.0	—	93.8	2,687
150期末 (2024年4月8日)	7,792	40	3.8	104,533	3.9	0.0	98.3	2,667
151期末 (2024年5月7日)	7,625	40	△ 1.6	105,694	1.1	0.0	99.5	2,592
152期末 (2024年6月7日)	7,690	40	1.4	110,535	4.6	0.0	98.2	2,603
153期末 (2024年7月8日)	7,831	40	2.4	118,717	7.4	0.0	98.2	2,593
154期末 (2024年8月7日)	7,159	40	△ 8.1	102,250	△ 13.9	0.0	99.4	2,354
155期末 (2024年9月9日)	7,173	40	0.8	102,592	0.3	0.0	97.5	2,346
156期末 (2024年10月7日)	7,733	40	8.4	113,529	10.7	0.0	98.6	2,521
157期末 (2024年11月7日)	8,147	40	5.9	121,953	7.4	0.0	97.7	2,634
158期末 (2024年12月9日)	7,752	40	△ 4.4	121,529	△ 0.3	0.0	98.2	2,506
159期末 (2025年1月7日)	7,813	40	1.3	125,988	3.7	0.0	97.5	2,491
160期末 (2025年2月7日)	7,525	40	△ 3.2	122,719	△ 2.6	0.0	98.8	2,382
161期末 (2025年3月7日)	7,240	40	△ 3.3	113,391	△ 7.6	0.0	99.7	2,286

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

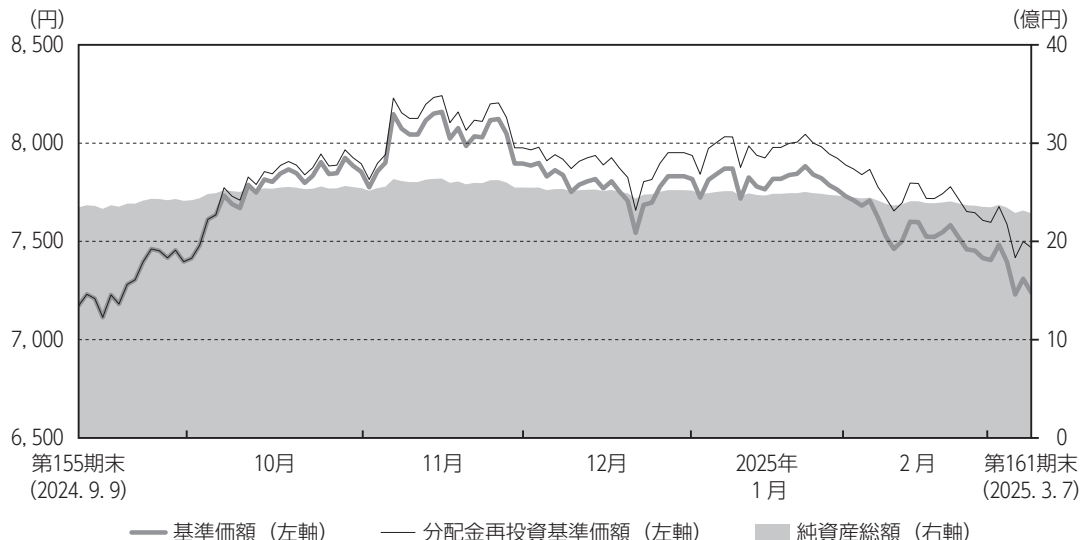
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第156期首：7,173円

第161期末：7,240円（既払分配金240円）

騰落率：4.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

投資した「クローキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クローキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」については、オプション取引戦略はマイナス要因となったものの、米国株式市況の上昇や米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クローキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）：オージェンタム・トラスト
クローキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第156期	(期首) 2024年 9月 9日	円 7,173	% —	102,592	% —	% 0.0	% 97.5
	9月末	7,397	3.1	108,866	6.1	0.0	97.9
	(期末) 2024年10月 7日	7,773	8.4	113,529	10.7	0.0	98.6
第157期	(期首) 2024年10月 7日	7,733	—	113,529	—	0.0	98.6
	10月末	7,854	1.6	118,799	4.6	0.0	99.5
	(期末) 2024年11月 7日	8,187	5.9	121,953	7.4	0.0	97.7
第158期	(期首) 2024年11月 7日	8,147	—	121,953	—	0.0	97.7
	11月末	7,896	△ 3.1	120,377	△ 1.3	0.0	97.9
	(期末) 2024年12月 9日	7,792	△ 4.4	121,529	△ 0.3	0.0	98.2
第159期	(期首) 2024年12月 9日	7,752	—	121,529	—	0.0	98.2
	12月末	7,817	0.8	125,835	3.5	0.0	98.7
	(期末) 2025年 1月 7日	7,853	1.3	125,988	3.7	0.0	97.5
第160期	(期首) 2025年 1月 7日	7,813	—	125,988	—	0.0	97.5
	1月末	7,730	△ 1.1	124,990	△ 0.8	0.0	98.0
	(期末) 2025年 2月 7日	7,565	△ 3.2	122,719	△ 2.6	0.0	98.8
第161期	(期首) 2025年 2月 7日	7,525	—	122,719	—	0.0	98.8
	2月末	7,405	△ 1.6	117,050	△ 4.6	0.0	98.7
	(期末) 2025年 3月 7日	7,280	△ 3.3	113,391	△ 7.6	0.0	99.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 9. 10 ～ 2025. 3. 7）

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言、また実際に0.50%ポイントの利下げを決定したことなどを背景に、上昇基調で推移しました。2024年11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬にF R Bが0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ米国政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、下落して当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから、円高基調となりました。しかし2024年10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。11月は、米国金利の上昇に連れて円安米ドル高基調となりましたが、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、月半ばに円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安が進行しました。2025年1月に入ると、おおむね日米金利差の動きに連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで円高に転じ、当作成期の上昇幅を縮小して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 9. 10 ~ 2025. 3. 7)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

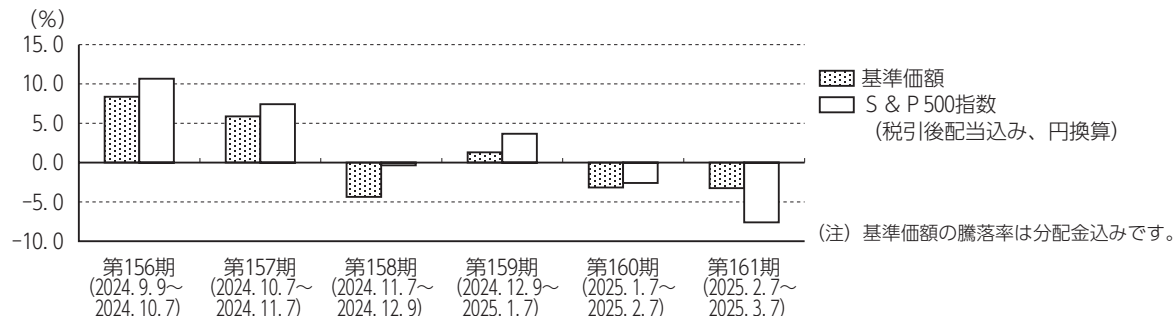
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	2024年9月10日 ～2024年10月7日	2024年10月8日 ～2024年11月7日	2024年11月8日 ～2024年12月9日	2024年12月10日 ～2025年1月7日	2025年1月8日 ～2025年2月7日	2025年2月8日 ～2025年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.51	0.49	0.51	0.51	0.53	0.55
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,107	2,340	2,356	2,383	2,401	2,420

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 63.79円	✓ 61.20円	✓ 55.74円	✓ 66.81円	✓ 57.68円	✓ 58.93円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	211.53	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	772.36	774.20	782.48	784.72	787.44	793.12
(d) 分配準備積立金	1,311.75	1,333.70	1,558.39	1,571.90	1,596.00	1,608.01
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,147.91	2,380.65	2,396.62	2,423.43	2,441.13	2,460.07
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,107.91	2,340.65	2,356.62	2,383.43	2,401.13	2,420.07

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」とダ「イワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄と異なる場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第156期～第161期 (2024. 9. 10～2025. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	51円	0.660%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,704円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.432)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	51	0.664	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

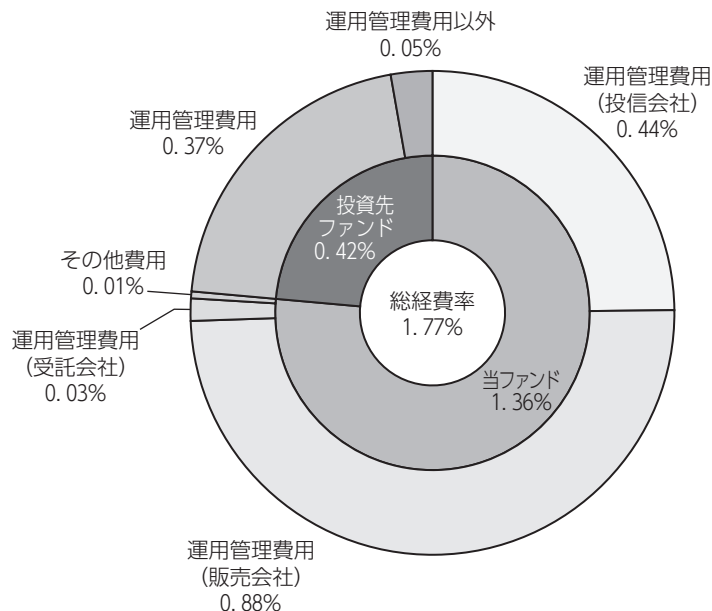
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.77%
①当ファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.37%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年9月10日から2025年3月7日まで)

決 算 期		第 156 期 ～ 第 161 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	796.53285	128,127	794.43754	129,300

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 161 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	15,104.08443	2,278,783	99.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第155期末	第 161 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月7日現在

項 目	第 161 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,278,783	98.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	30,815	1.3
投資信託財産総額	2,309,600	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年10月7日)、(2024年11月7日)、(2024年12月9日)、(2025年1月7日)、(2025年2月7日)、(2025年3月7日)現在

項目	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末
(A) 資産	2,538,461,693円	2,652,503,463円	2,522,950,184円	2,597,390,975円	2,403,638,186円	2,309,600,450円
コール・ローン等	51,855,223	78,626,417	60,723,881	34,063,053	49,587,248	30,815,034
投資信託受益証券 (評価額)	2,486,604,481	2,573,875,057	2,462,224,314	2,429,925,933	2,354,048,948	2,278,783,426
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	1,989	1,989	1,989	1,989	1,990	1,990
未収入金	—	—	—	133,400,000	—	—
(B) 負債	16,632,949	17,507,603	16,142,124	105,888,558	21,603,171	22,870,049
未払金	—	—	—	66,700,000	—	—
未払収益分配金	13,044,622	12,936,775	12,934,364	12,755,647	12,661,243	12,633,068
未払解約金	1,082,303	1,635,629	98,384	23,680,948	6,018,874	7,682,846
未払信託報酬	2,490,787	2,902,210	3,057,684	2,683,861	2,837,597	2,453,669
その他未払費用	15,237	32,989	51,692	68,102	85,457	100,466
(C) 純資産総額 (A - B)	2,521,828,744	2,634,995,860	2,506,808,060	2,491,502,417	2,382,035,015	2,286,730,401
元本	3,261,155,606	3,234,193,786	3,233,591,235	3,188,911,811	3,165,310,935	3,158,267,143
次期繰越損益金	△ 739,326,862	△ 599,197,926	△ 726,783,175	△ 697,409,394	△ 783,275,920	△ 871,536,742
(D) 受益権総口数	3,261,155,606口	3,234,193,786口	3,233,591,235口	3,188,911,811口	3,165,310,935口	3,158,267,143口
1万口当り基準価額 (C/D)	7,733円	8,147円	7,752円	7,813円	7,525円	7,240円

* 当作成期首における元本額は3,271,281,319円、当作成期間 (第156期~第161期) 中における追加設定元本額は47,055,307円、同解約元本額は160,069,483円です。

* 第161期末の計算口数当りの純資産額は7,240円です。

* 第161期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は871,536,742円です。

■損益の状況

第156期 自 2024年9月10日 至 2024年10月7日 第158期 自 2024年11月8日 至 2024年12月9日 第160期 自 2025年1月8日 至 2025年2月7日

第157期 自 2024年10月8日 至 2024年11月7日 第159期 自 2024年12月10日 至 2025年1月7日 第161期 自 2025年2月8日 至 2025年3月7日

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(A) 配当等収益	21,069,557円	20,188,547円	21,101,011円	23,099,067円	21,114,056円	21,081,735円
受取配当金	21,059,016	20,183,168	21,088,272	23,091,452	21,098,599	21,068,358
受取利息	10,541	5,379	12,739	7,615	15,457	13,377
(B) 有価証券売買損益	177,045,458	129,681,708	△ 132,427,475	11,688,385	△ 96,626,450	△ 96,028,658
売買益	177,223,408	129,652,984	320,692	12,333,334	318,794	336,168
売買損	△ 177,950	28,724	△ 132,748,167	△ 644,949	△ 96,945,244	△ 96,364,826
(C) 信託報酬等	△ 2,506,024	△ 2,919,962	△ 3,076,387	△ 2,700,271	△ 2,854,952	△ 2,468,678
(D) 当期損益金 (A + B + C)	195,608,991	146,950,293	△ 114,402,851	32,087,181	△ 78,367,346	△ 77,415,601
(E) 前期繰越損益金	193,666,763	372,606,847	503,921,143	370,854,259	386,641,278	293,916,989
(F) 追加信託差損益金	△ 1,115,557,994	△ 1,105,818,291	△ 1,103,367,103	△ 1,087,595,187	△ 1,078,888,609	△ 1,075,405,062
(配当等相当額)	(251,880,758)	(250,394,065)	(253,024,704)	(250,240,490)	(249,251,539)	(250,491,330)
(売買損益相当額)	(△ 1,367,438,752)	(△ 1,356,212,356)	(△ 1,356,391,807)	(△ 1,337,835,677)	(△ 1,328,140,148)	(△ 1,325,896,392)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 726,282,240	△ 586,261,151	△ 713,848,811	△ 684,653,747	△ 770,614,677	△ 858,903,674
(H) 収益分配金	△ 13,044,622	△ 12,936,775	△ 12,934,364	△ 12,755,647	△ 12,661,243	△ 12,633,068
次期繰越損益金 (G + H)	△ 739,326,862	△ 599,197,926	△ 726,783,175	△ 697,409,394	△ 783,275,920	△ 871,536,742
追加信託差損益金	△ 1,115,557,994	△ 1,105,818,291	△ 1,103,367,103	△ 1,087,595,187	△ 1,078,888,609	△ 1,075,405,062
(配当等相当額)	(251,880,758)	(250,394,065)	(253,024,704)	(250,240,490)	(249,251,539)	(250,491,330)
(売買損益相当額)	(△ 1,367,438,752)	(△ 1,356,212,356)	(△ 1,356,391,807)	(△ 1,337,835,677)	(△ 1,328,140,148)	(△ 1,325,896,392)
分配準備積立金	435,542,805	506,620,365	509,011,403	509,817,310	510,783,903	513,833,924
繰越損益金	△ 59,311,673	—	△ 132,427,475	△ 119,631,517	△ 215,171,214	△ 309,965,604

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,802,916円	19,795,228円	18,024,624円	21,306,087円	18,259,104円	18,613,057円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	68,414,747	0	0	0	0
(c) 収益調整金	251,880,758	250,394,065	253,024,704	250,240,490	249,251,539	250,491,330
(d) 分配準備積立金	427,784,511	431,347,165	503,921,143	501,266,870	505,186,042	507,853,935
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	700,468,185	769,951,205	774,970,471	772,813,447	772,696,685	776,958,322
(f) 分配金	13,044,622	12,936,775	12,934,364	12,755,647	12,661,243	12,633,068
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	687,423,563	757,014,430	762,036,107	760,057,800	760,035,442	764,325,254
(h) 受益権総口数	3,261,155,606口	3,234,193,786口	3,233,591,235口	3,188,911,811口	3,165,310,935口	3,158,267,143口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
		40円	40円	40円	40円	40円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
112期末 (2022年10月7日)	2,664	30	1.8	25,674	△ 4.1	—	99.6	113
113期末 (2022年11月7日)	2,860	30	8.5	25,869	0.8	—	97.5	122
114期末 (2022年12月7日)	2,803	30	△ 0.9	27,077	4.7	—	97.0	119
115期末 (2023年1月10日)	2,813	30	1.4	26,769	△ 1.1	—	99.1	121
116期末 (2023年2月7日)	2,924	30	5.0	28,290	5.7	—	99.3	130
117期末 (2023年3月7日)	3,033	30	4.8	27,896	△ 1.4	—	98.5	138
118期末 (2023年4月7日)	2,845	30	△ 5.2	28,320	1.5	—	98.9	126
119期末 (2023年5月8日)	2,923	30	3.8	28,550	0.8	—	99.1	131
120期末 (2023年6月7日)	3,074	30	6.2	29,609	3.7	—	98.5	137
121期末 (2023年7月7日)	3,129	30	2.8	30,518	3.1	—	98.9	142
122期末 (2023年8月7日)	3,226	30	4.1	30,997	1.6	—	97.6	144
123期末 (2023年9月7日)	3,293	30	3.0	30,948	△ 0.2	—	99.3	148
124期末 (2023年10月10日)	3,106	30	△ 4.8	30,078	△ 2.8	—	99.4	143
125期末 (2023年11月7日)	3,234	30	5.1	30,303	0.7	—	97.6	149
126期末 (2023年12月7日)	3,156	30	△ 1.5	31,620	4.3	—	99.1	147
127期末 (2024年1月9日)	3,265	30	4.4	33,137	4.8	—	97.5	152
128期末 (2024年2月7日)	3,339	30	3.2	34,483	4.1	—	98.5	150
129期末 (2024年3月7日)	3,421	30	3.4	35,571	3.2	—	99.4	154
130期末 (2024年4月8日)	3,596	30	6.0	36,294	2.0	0.0	97.5	162
131期末 (2024年5月7日)	3,478	30	△ 2.4	36,147	△ 0.4	0.0	99.0	156
132期末 (2024年6月7日)	3,506	30	1.7	37,390	3.4	0.0	99.1	158
133期末 (2024年7月8日)	3,518	30	1.2	38,919	4.1	0.0	96.8	152
134期末 (2024年8月7日)	3,173	30	△ 9.0	36,651	△ 5.8	0.0	98.1	136
135期末 (2024年9月9日)	3,214	30	2.2	37,871	3.3	0.0	99.2	138
136期末 (2024年10月7日)	3,465	30	8.7	40,302	6.4	0.0	97.6	149
137期末 (2024年11月7日)	3,575	30	4.0	41,568	3.1	0.0	98.4	154
138期末 (2024年12月9日)	3,357	30	△ 5.3	42,744	2.8	0.0	99.0	145
139期末 (2025年1月7日)	3,365	30	1.1	41,968	△ 1.8	0.0	97.7	145
140期末 (2025年2月7日)	3,265	30	△ 2.1	42,749	1.9	0.0	98.9	141
141期末 (2025年3月7日)	3,172	30	△ 1.9	40,361	△ 5.6	0.0	99.8	137

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

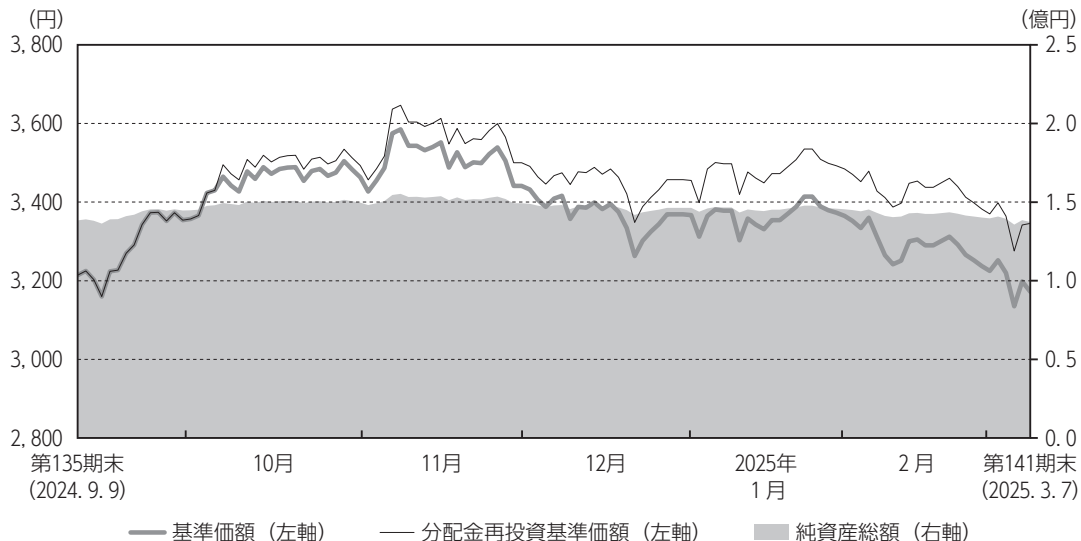
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第136期首：3,214円

第141期末：3,172円（既払分配金180円）

騰落率：4.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

投資した「クローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました（分配金再投資ベース）。「クローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」については、オプション取引戦略はマイナス要因となったものの、米国株式市況の上昇や選定通貨が対円でおおむね上昇（円安）したことが、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）：オージェンタム・トラスト
トクローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第136期	(期首) 2024年 9月 9日	円 3,214	% —	37,871	% —	% 0.0	% 99.2
	9月末	3,354	4.4	40,200	6.2	0.0	99.2
	(期末) 2024年10月 7日	3,495	8.7	40,302	6.4	0.0	97.6
第137期	(期首) 2024年10月 7日	3,465	—	40,302	—	0.0	97.6
	10月末	3,463	△ 0.1	40,754	1.1	0.0	97.5
	(期末) 2024年11月 7日	3,605	4.0	41,568	3.1	0.0	98.4
第138期	(期首) 2024年11月 7日	3,575	—	41,568	—	0.0	98.4
	11月末	3,441	△ 3.7	42,089	1.3	0.0	98.1
	(期末) 2024年12月 9日	3,387	△ 5.3	42,744	2.8	0.0	99.0
第139期	(期首) 2024年12月 9日	3,357	—	42,744	—	0.0	99.0
	12月末	3,367	0.3	41,928	△ 1.9	0.0	96.6
	(期末) 2025年 1月 7日	3,395	1.1	41,968	△ 1.8	0.0	97.7
第140期	(期首) 2025年 1月 7日	3,365	—	41,968	—	0.0	97.7
	1月末	3,365	0.0	42,658	1.6	0.0	98.0
	(期末) 2025年 2月 7日	3,295	△ 2.1	42,749	1.9	0.0	98.9
第141期	(期首) 2025年 2月 7日	3,265	—	42,749	—	0.0	98.9
	2月末	3,225	△ 1.2	41,218	△ 3.6	0.0	98.8
	(期末) 2025年 3月 7日	3,202	△ 1.9	40,361	△ 5.6	0.0	99.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 9. 10 ～ 2025. 3. 7）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言、また実際に0.50%ポイントの利下げを決定したことなどを背景に、上昇基調で推移しました。2024年11月初旬の大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことも、上昇基調を後押ししました。12月中旬にF R Bが0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ米国政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、下落して当作成期末を迎えました。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね上昇しました。

当作成期における選定通貨の対円為替相場は、日銀の利上げを急がない姿勢などを受けて円安が進行したことから、メキシコ・ペソ、ブラジル・リアル、コロンビア・ペソ、ハンガリー・フォリント、インド・ルピー、南アフリカ・ランド、ルーマニア・レイ、ポーランド・ズロチは対円の上昇しました。一方で、トルコ・リラは対円下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。一方、米国では、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を、5.25～5.50%から4.25～4.50%に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2024. 9. 10 ～ 2025. 3. 7）

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益（利息収入）が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

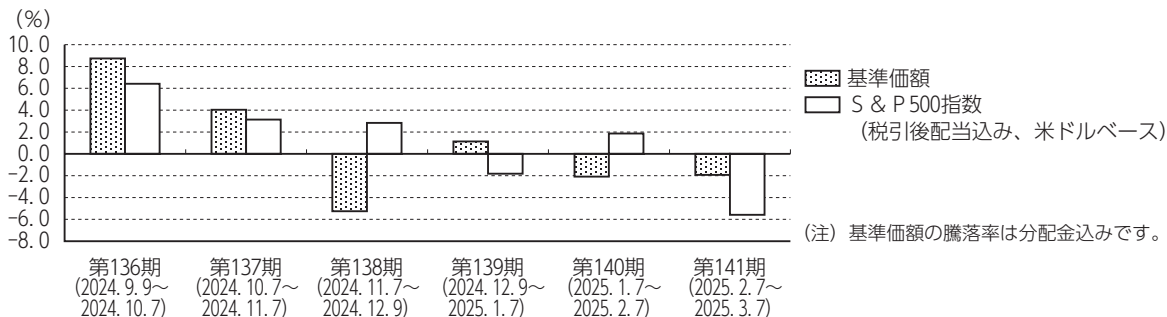
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
	2024年9月10日 ～2024年10月7日	2024年10月8日 ～2024年11月7日	2024年11月8日 ～2024年12月9日	2024年12月10日 ～2025年1月7日	2025年1月8日 ～2025年2月7日	2025年2月8日 ～2025年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.86	0.83	0.89	0.88	0.91	0.94
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,141	1,176	1,212	1,262	1,298	1,344

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 77.01円	✓ 65.06円	✓ 65.93円	✓ 80.06円	✓ 65.70円	✓ 75.90円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	459.78	461.34	464.47	466.64	468.53	470.33
(d) 分配準備積立金	634.38	679.87	711.84	745.66	793.85	827.76
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,171.18	1,206.28	1,242.24	1,292.36	1,328.08	1,374.00
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,141.18	1,176.28	1,212.24	1,262.36	1,298.08	1,344.00

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E 世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とまらない場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第136期～第141期 (2024. 9. 10～2025. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0. 659%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3, 375円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0. 431)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0. 663	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

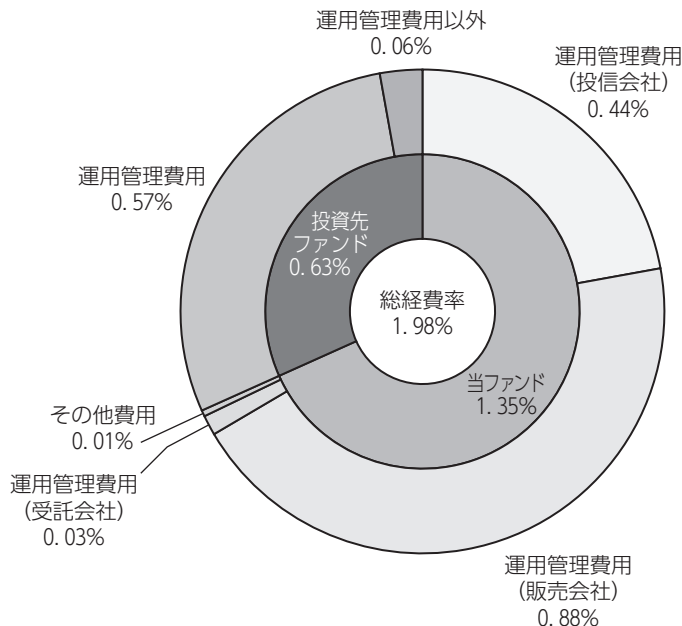
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.98%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2024年9月10日から2025年3月7日まで)

決 算 期		第 136 期 ~ 第 141 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	686.71349	19,376	246.83194	7,100

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 141 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	5,285.5591	137,059	99.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第135期末	第 141 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月7日現在

項 目	第 141 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	137,059	98.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	1,760	1.3
投資信託財産総額	138,822	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年10月7日)、(2024年11月7日)、(2024年12月9日)、(2025年1月7日)、(2025年2月7日)、(2025年3月7日)現在

項目	第136期末	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末
(A) 資産	150,898,414円	156,048,504円	147,085,734円	147,674,917円	142,669,880円	138,822,219円
コール・ローン等	5,056,744	3,949,727	2,957,185	5,148,453	3,020,875	1,760,579
投資信託受益証券 (評価額)	145,839,864	152,096,971	144,126,743	142,524,658	139,647,198	137,059,833
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	1,806	1,806	1,806	1,806	1,807	1,807
(B) 負債	1,442,850	1,477,194	1,482,983	1,776,070	1,491,567	1,467,016
未払収益分配金	1,294,120	1,296,951	1,301,034	1,300,570	1,297,106	1,299,023
未払解約金	—	6,952	—	315,446	22,722	16,177
未払信託報酬	147,841	171,369	178,947	156,104	166,784	145,982
その他未払費用	889	1,922	3,002	3,950	4,955	5,834
(C) 純資産総額 (A - B)	149,455,564	154,571,310	145,602,751	145,898,847	141,178,313	137,355,203
元本	431,373,643	432,317,032	433,678,295	433,523,430	432,368,699	433,007,950
次期繰越損益金	△ 281,918,079	△ 277,745,722	△ 288,075,544	△ 287,624,583	△ 291,190,386	△ 295,652,747
(D) 受益権総口数	431,373,643口	432,317,032口	433,678,295口	433,523,430口	432,368,699口	433,007,950口
1万口当り基準価額 (C/D)	3,465円	3,575円	3,357円	3,365円	3,265円	3,172円

* 当作成期首における元本額は430,528,566円、当作成期間 (第136期~第141期) 中における追加設定元本額は6,886,136円、同解約元本額は4,406,752円です。

* 第141期末の計算口数当りの純資産額は3,172円です。

* 第141期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は295,652,747円です。

■損益の状況

第136期 自 2024年9月10日 至 2024年10月7日 第138期 自 2024年11月8日 至 2024年12月9日 第140期 自 2025年1月8日 至 2025年2月7日
 第137期 自 2024年10月8日 至 2024年11月7日 第139期 自 2024年12月10日 至 2025年1月7日 第141期 自 2025年2月8日 至 2025年3月7日

項目	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
(A) 配当等収益	3,363,131円	2,892,557円	3,039,292円	3,627,911円	3,008,535円	3,433,493円
受取配当金	3,362,899	2,891,793	3,038,708	3,627,584	3,007,638	3,432,798
受取利息	232	764	584	327	897	695
(B) 有価証券売買損益	8,898,949	3,365,305	△ 11,008,395	△ 1,821,977	△ 5,875,150	△ 6,019,677
売買益	8,898,932	3,365,262	168	13,719	11,479	1,310
売買損	17	43	△ 11,008,563	△ 1,835,696	△ 5,886,629	△ 6,020,987
(C) 信託報酬等	△ 148,730	△ 172,402	△ 180,027	△ 157,052	△ 167,789	△ 146,861
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	12,113,350	6,085,460	△ 8,149,130	1,648,882	△ 3,034,404	△ 2,733,045
(E) 前期繰越損益金	△ 27,804,903	△ 16,984,764	△ 12,181,625	△ 21,562,912	△ 21,108,439	△ 25,422,539
(F) 追加信託差損益金	△ 264,932,406	△ 265,549,467	△ 266,443,755	△ 266,409,983	△ 265,750,437	△ 266,198,140
(配当等相当額)	(19,833,957)	(19,944,553)	(20,143,219)	(20,230,183)	(20,257,915)	(20,365,815)
(売買損益相当額)	(△ 284,766,363)	(△ 285,494,020)	(△ 286,586,974)	(△ 286,640,166)	(△ 286,008,352)	(△ 286,563,955)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 280,623,959	△ 276,448,771	△ 286,774,510	△ 286,324,013	△ 289,893,280	△ 294,353,724
(H) 収益分配金	△ 1,294,120	△ 1,296,951	△ 1,301,034	△ 1,300,570	△ 1,297,106	△ 1,299,023
次期繰越損益金 (G + H)	△ 281,918,079	△ 277,745,722	△ 288,075,544	△ 287,624,583	△ 291,190,386	△ 295,652,747
追加信託差損益金	△ 264,932,406	△ 265,549,467	△ 266,443,755	△ 266,409,983	△ 265,750,437	△ 266,198,140
(配当等相当額)	(19,833,957)	(19,944,553)	(20,143,219)	(20,230,183)	(20,257,915)	(20,365,815)
(売買損益相当額)	(△ 284,766,363)	(△ 285,494,020)	(△ 286,586,974)	(△ 286,640,166)	(△ 286,008,352)	(△ 286,563,955)
分配準備積立金	29,393,882	30,908,230	32,429,387	34,496,418	35,867,425	37,830,488
繰越損益金	△ 46,379,555	△ 43,104,485	△ 54,061,176	△ 55,711,018	△ 61,307,374	△ 67,285,095

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,322,334円	2,812,873円	2,859,265円	3,470,859円	2,840,746円	3,286,632円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	19,833,957	19,944,553	20,143,219	20,230,183	20,257,915	20,365,815
(d) 分配準備積立金	27,365,668	29,392,308	30,871,156	32,326,129	34,323,785	35,842,879
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	50,521,959	52,149,734	53,873,640	56,027,171	57,422,446	59,495,326
(f) 分配金	1,294,120	1,296,951	1,301,034	1,300,570	1,297,106	1,299,023
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	49,227,839	50,852,783	52,572,606	54,726,601	56,125,340	58,196,303
(h) 受益権総口数	431,373,643口	432,317,032口	433,678,295口	433,523,430口	432,368,699口	433,007,950口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第136期	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期
		30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500 指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

クロッキーUSストラテジー・ファンド
 (日本円・クラス/豪ドル・クラス/ブラジル・リアル・クラス/
 米ドル・クラス/通貨セレクト・クラス)

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－日本円・コース（毎月分配型）/豪ドル・コース（毎月分配型）/ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）/米ドル・コース（毎月分配型）/通貨セレクト・コース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス/豪ドル・クラス/ブラジル・リアル・クラス/米ドル・クラス/通貨セレクト・クラス）」を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

(日本円建て)

貸借対照表

2024年2月29日

資産

投資資産の公正価値による評価額（簿価 ¥2,887,188）	¥	315,284,583
現金および現金同等物		17,998,568,957
投資資産売却に係る未収入金		334,053,359
その他資産		569,904
資産合計		18,648,476,803

負債

未払：

償還済み受益証券		334,200,000
購入済みの投資		327,873,680
清算済みスワップ取引		69,805,197
専門家報酬		37,670,453
運用会社報酬		2,373,684
登録料		696,360
管理会社報酬		182,674
為替投資アドバイザー報酬		55,245
受託会社報酬		37,997
負債合計		772,895,290

純資産

	¥	17,875,581,513
豪ドル・クラス	¥	759,955,231
ブラジル・リアル・クラス		14,057,507,228
日本円・クラス		263,971,170
通貨セレクト・クラス		153,192,130

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ-

米ドル・クラス		2,640,955,754
	¥	<u>17,875,581,513</u>
発行済み受益証券		
豪ドル・クラス		8,825,650
ブラジル・リアル・クラス		368,116,896
日本円・クラス		3,421,460
通貨セレクト・クラス		4,726,388
米ドル・クラス		16,343,599
受益証券1口当り純資産額		
豪ドル・クラス	¥	86.108
ブラジル・リアル・クラス	¥	38.188
日本円・クラス	¥	77.152
通貨セレクト・クラス	¥	32.412
米ドル・クラス	¥	161.590

(日本円建て)

損益計算書

2024年2月29日に終了した年度

投資収益	
受取利息	¥ 759,949,487
その他収益	42,592,657
投資収益合計	<u>802,542,144</u>
費用	
運用会社報酬	32,263,701
担保不足費用	15,734,267
管理会社報酬	12,668,772
専門家報酬	8,094,398
名義書換代理人報酬	1,791,990
受託会社報酬	1,438,305
為替投資アドバイザー報酬	212,161
その他費用	19,449,934
費用合計	<u>91,653,528</u>
純投資損益	<u>710,888,616</u>
実現損益および評価損益の変動：	
実現損益：	
ストラクチャード商品への投資	1,403,393,014
外国為替スワップ取引	820,050,292
外国為替取引および外国為替先渡取引	2,426,120,426
純実現損益	<u>4,649,563,732</u>
評価損益の変動の内訳：	
ストラクチャード商品への投資	321,331,530
外国為替スワップ取引	365,316,140
外国為替換算	(120,920,886)
評価損益の純変動	<u>565,726,784</u>
純実現損益および評価損益の純変動	<u>5,215,290,516</u>
運用の結果による純資産の純増減	<u>¥ 5,926,179,132</u>

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ-

(日本円建て)

投資明細表
2024年 2月29日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券数	純資産に 占める割合	公正価値による 評価額
Share Basket Swap Transaction* - トータル・リターン・スワップ	961,887	1.76%	¥ 315,284,583
ストラクチャード商品計 (簿価 ¥2,887,188)			315,284,583
投資資産計 (簿価 ¥2,887,188)		1.76%	¥ 315,284,583

当ファンドは J.P. Morgan Securities plc. との間で締結したアンファンデッド・スワップを通じて Share Basket Swap Transaction と同様のエクスポージャーを有しています。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2024年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2025年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2024年9月10日から2025年3月7日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1258国庫短期証券 2024/12/23	11,398,953		
1277国庫短期証券 2025/3/31	10,796,144		
1286国庫短期証券 2025/5/12	3,497,277		
1266国庫短期証券 2025/2/10	2,499,930		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（25,443,444千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2025年3月7日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 以 下 組 入 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 14,300,000	千円 14,297,080	%	%	%	%	%
			55.2	—	—	—	55.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年3月7日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	1277国庫短期証券	— %	千円 10,800,000	千円 10,799,055	2025/03/31	
	1286国庫短期証券	—	3,500,000	3,498,025	2025/05/12	
合 計	銘 柄 数 金 額		14,300,000	14,297,080		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第20期 (決算日 2024年12月9日)

(作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

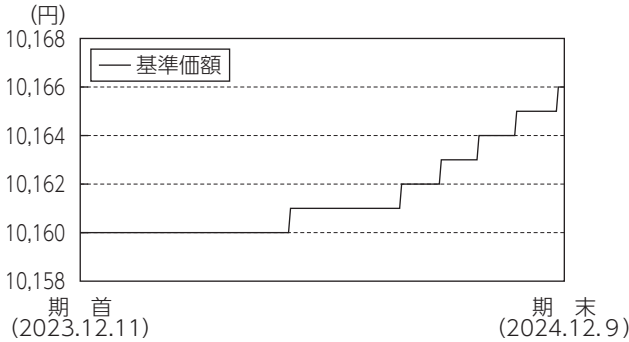
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	騰 落 率	騰 落 率	組 入 比	率
(期首)2023年12月11日	円	%	%	%
	10,160	-	-	-
12月末	10,160	0.0	-	-
2024年1月1日	10,160	0.0	-	-
2月末	10,160	0.0	-	-
3月末	10,160	0.0	54.3	
4月末	10,160	0.0	61.4	
5月末	10,161	0.0	61.1	
6月末	10,161	0.0	53.7	
7月末	10,161	0.0	53.8	
8月末	10,162	0.0	54.0	
9月末	10,163	0.0	56.8	
10月末	10,164	0.0	52.1	
11月末	10,165	0.0	59.1	
(期末)2024年12月9日	10,166	0.1	59.0	

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,160円 期末：10,166円 騰落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	34,898,602	(21,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
	金 額		金 額
	千円		千円
1258国庫短期証券	2024/12/23	11,398,953	
1219国庫短期証券	2024/6/24	10,999,769	
1239国庫短期証券	2024/9/24	9,999,950	
1266国庫短期証券	2025/2/10	2,499,930	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		末				
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	13,900,000	13,899,790	59.0	-	-	-	59.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	当 期		末		
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	1258国庫短期証券	-	11,400,000	11,399,837	2024/12/23
	1266国庫短期証券	-	2,500,000	2,499,953	2025/02/10
合計	銘柄数 金額	2銘柄	13,900,000	13,899,790	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,899,790	57.7
コール・ローン等、その他	10,201,274	42.3
投資信託財産総額	24,101,065	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	24,101,065,702円
コール・ローン等	10,201,274,983
公社債(評価額)	13,899,790,719
(B) 負債	539,914,600
未払解約金	539,914,600
(C) 純資産総額(A-B)	23,561,151,102
元本	23,177,163,591
次期繰越損益金	383,987,511
(D) 受益権総口数	23,177,163,591口
1万口当り基準価額(C/D)	1,016,66円

* 期首における元本額は19,198,713,135円、当作成期間中における追加設定元本額は26,183,209,751円、同解約元本額は22,204,759,295円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	9,272,436,966円
ダイワ・グローバルOT関連株ファンド - A I新時代- (為替ヘッジあり)	1,316円
ダイワ・グローバルOT関連株ファンド - A I新時代- (為替ヘッジなし)	1,316円
ダイワF Eグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワF Eグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	1,862円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	1,862円
世界水資源関連株式ファンド	984円
ダイワ/ "R I C I" コモディティ・ファンド	2,074,249円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	1,595円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	1,428円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	1,772円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	1,270円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	1,625,040,517円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	6,118,952,239円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	1,922,334,672円
iFreeETF 米国10年国債先物インバース	748,591,588円
D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ	3,487,675,074円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	
リターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	1,851円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	
リターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	1,805円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	
リターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	1,763円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	
リターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	1,957円
ダイワF Eグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	1,773円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	1,606円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	1,427円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	1,922円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	1,705円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	
リターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,777円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,166円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,741,987円
受取利息	11,228,079
支払利息	△ 486,092
(B) 有価証券売買損益	58
売買益	58
(C) 当期損益金(A + B)	10,742,045
(D) 前期繰越損益金	307,369,188
(E) 解約差損益金	△357,989,162
(F) 追加信託差損益金	423,865,440
(G) 合計(C + D + E + F)	383,987,511
次期繰越損益金(G)	383,987,511

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。